公民館報
こすど
発行所　小須戸町公民館
新潟県小須戸町大字中藤
編集兼印刷人　矢部三郎

年頭の辞

町長

昭和三十一年の新春を迎えましたことは皆様と共に御同慶に堪えません。

顧みますに昨年は未曾有の豊作の為農家の喜びは一方ならぬ喜びであると思います。

此の喜びは廻り〳〵て町部の人の手にも頒たるゝことゝ思います三ケ年継続事業の三校統合問題も完成し、新校舎に千二百人の子供達が元気で勉強して居らるゝ処を見ますると何よりも嬉しさを感ずるのでありますが、これも皆さん方の御協力の賜物と感謝申上げて居ります。

さて昭和三十一年度の事業としてやらせて貰いたいことは火葬場の問題であります。

現在の町の火葬場は火災に逢つてから大変狭くなつており内容火炉の設備も破損し誠に見られない様な状態になつております。

他の町では現代式の立派な火葬場のみであります。死亡者があつて会葬して見るとこの町にこの火葬場かと情けない感じがするのであります。それで人生五十年と云われて居りましたその間郷土のため、御国の為尽された方々がこんど仏の世界へ生れて行くのでありますから綺麗な金車を飾つた様な処で焼いて遺骨にして上げたいと思います。

そして自動車でも備えてあれば農村の方でも殆んど全町の方が使用出来るのであります既に火葬場の候補地として学校の候補地と同時に買つて居つた処がありますから此処で新設したいと思います。

議会の厚生委員会でも既に他の町の火葬場を視察して来られたのでありますし、本年は是非実現させたいと思います。

尚県立病院の問題には県会議員村山さんも一生懸命に心配して居られますし、私共もこれと連繋し最善の努力をいたして居りますから町民皆様の御支援と御協力を願います。

新生活運動の考え方と進め方

戦后十年の才月を経て、国民生活も次第に安定に向い、新らしい文化の建設にも亦めざましいものがある。而しながら一歩踏み込んで国情を考える時、政治的にも経済的にも自立の基礎は弱く、国民生活の向上を妨げる封建的因習もまた随所に見受けられる。

このような状態の中で真に自らの生活を高め、幸福な日暮しの出来る家庭、社会を作る為に地域、職域で共同して生活を改善し、因習を打破し、物質的にも精神的にも豊な生活を打ち立てようとする動き、これが新生活運動である。

斯かる運動は以前からしば〳〵行われたものであるが往々にして局部的であり、散発的であり、形式的であり、尚一番悪いことは例えば大政翼賛会当時の如く一部指導者によつて、個人生活に規正や干渉を加え、自主性を無視した統制や支配が行われた事である。

新生活運動が立派に実を結ぶ為には過去の運動における長所をとり入れ短所を捨てゝゆかなければならない、その基本的な考え方は

第一に国民大衆の中から自発的に盛り上り興開されるものであり、個人、社会の生活向上に資するものでありたい。

第二に外面的には衣食住等の生活様式の改善であり、内面的には個人の尊厳を重んじ家庭社会の民主化を計る教育活動でありたい。

第三に独善的、排他的でなく、一時的な行事に終らず着実に重点的に近い目標から手掛けてゆくものであり度い。

第四に画一的模倣的なものでなく、それ〴〵の地域や職域の実情に即して、多様にくりひろげられるものでありたい。

上述のような基本的な考え方のもとに此の運動の望ましい運動の進め方としては

第一に生活を一層豊にするために、最も身近な改善すべき点を発見する事が最初であり、そのためには、家族内で、地域社会内で充分話し合われなければならず、共同の目標をたてる場合、一部の者の意見を無理に押しつけられたり、少数者の意見を無視する事なく全ての者の納得と心からの賛同を得られる事が望ましい。

第二に運動は計画的であるとともに組織的継続的である事が大切である。そのため周到な実践計画をたて、年次、月次に行う具体的な行事を考える必要がある。

第三に此の運動を進めるためには集団の中にすぐれた指導者を得る事が大切である。それは特に民間人の中から求める事が望ましく、指導者とは計画者、組織者、実践者であり、それは各々に適材をあて同一人である事は必要でない。

最后に此の運動を達成するために地方公共団体や公民館のつとめる役割は

1 運動があく迄円滑に行われるように環境の育成につとめること

2 関係団体や個人の連絡調整の労をとること（特に公民館の場合）

3 運動が効果的に行われるために財政的援助につとめること（特に公共団体）

4 資料の作成頒布（公民館）専門的な技術の提供、適切な助言に努める事（社会教育主事、生活改善、農業改良普及員、保健衛生関係職員、学校教職員、学識経験者等）等である。

宮崎

教育委員会例規

委員長並び副委員長を左の通り改選する

昭和三年十二月十三日付

委員長　村山祐吉

副委員長　大塚長

年頭雑感

教育長　佐藤五郎

昨年は小須戸町い教育行政上三校統合が一応完成を見たことで全く画期的の年であつたことは事実であります。

この三校統合問題の過程において教育委員会のとつたやり方にはいろ〳〵まずかつた面もあり御批判もいたゞきましたが、教育委員会本来の使命である教育を守り通させていたゞいた点は町民の皆様に対し深く感謝申上げる次第であります。

私はこの三校統合問題の処理に当らせていたゞいている間に近代社会においては民主的訓練が如何に大切のことであるかと云うことを痛感いたしました。

極めて平凡のことのようではあるが、之の二、三の例について述べてみたいと思います。

第一　民主々義においては何といつても多数の者の意見によつ事を運ばなければならないと云うことです。

こゝに注意すべきことは多数の意見というものゝとらえ方に誤りがあつてはならないということと次ぎには少数意見を十分聞いてこれを尊重すると共に多数の者が横暴になつてはならないことが大切な事だと思いました。

第二　民主々義において欠くことの出来ない点は、まず他人の意見をすなおに聞きとることを忘れてはならないということを感じさせられました。

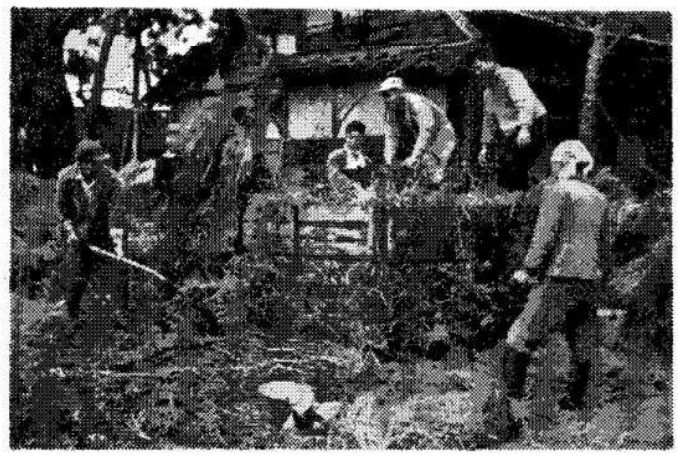
人によつては自分の言うことばかり主張して他人の意見を聞こうともしない人がありますが、それではお互いに話し合つて十分考えた上で進むべき道を発見しようとする民主々義の原則を実践することが不可能になると思います。

第三　民主々義ではどうしても会議がつきものですから、会議のあり方や持ち方をお互いが心得ておかないと民主々義がまことにトンチンカンのものになつてしまうと思うのであります。

敗戦后十年を経た今日一応我が国では民主々義を国是としてとり入れたが会議訓練という様なことはまだ〳〵一般大衆のものになつていないと思われることが数多く見受けられる様な気がいたします。そういえば国会においてさえ時々暴力沙汰があるのですから、あきれざるを得ません。

以上気付いたまゝ卒直に述べましたが結局は町教育委員会で定めました教育目標の第一項民主的で明朗な人となる（自分の責任を重んじ他人とよく協力する）と云うことを町民の皆さんから、お互い様充分お考えいたゞいて積極的に民主的な訓練を積んでもらいたいものであると存じます。

新しい昭和三十一年を迎えまして学校教育内容の整備充実、社会教育の振興等幾多の問題をはらんでいる小須戸町教育向上のため一人一人の町民の皆さんの問題として御関心をお寄せいたゞき昨年以上の御協力と御鞭撻をお願い申し上げる次第であります。



豊作の実現、その裏には地力が消耗したことを何人も考えるであろう。我々は常に豊作を願い、又土を愛している。作柄を安定せんが為、先ず土を愛そう。土を愛するには土を肥やす努力をしなければならない。

我々はその努力の一つとして、堆肥の自給生産に微力を尽そうとしている。

寫真は、堆肥つくりの実習をする竜玄4H クラブ員

産業家政講習会に参加して

今日青年団が直面している最も大きな問題は、生活と直結した活動をどのようにして展開するということである。

このような意味から県連合青年団では、去る十一月十九～二十一日まで長岡市農研会館において産業、家政に関しての講習会をもち、青年団が地すゝめ方」についての講義要旨である。

改善活動をくりひろげてゆくために開催された。

本町連合青年団より、会田良治、堀内喜平両君が参加された。

講師として中央より招聘した松丸志摩三先生（農村問題研究家、作家）の講義「農村社会の実態と生産、生活改善活動の

農村社会の実態と生産、生活改善活動のすすめ方

日本の農民は自分の生命を非常に粗末にする。人間の大切さを知らず矛盾したものである。

人間の本能は命を大切にするものであるにもかゝわらず農民は本能的に命を大事にしていない、どうしてこうなのであろうか。どんな点で大事にしていないのか、またその原因はどんなところにあるのだろうか。

東北のある人は「東北の農村では大低の農家が手拭一本あれば沢山だ」と云う、これは洗顔、風呂に一本という意味である。農民程手拭を常用するものはないのに、トラホームが感染するのはあたりまえだ。

また手拭が一本しかないのに、二本になるときがある。それは嫁が来た時だ、何時のまにかそれが一本になる。その時嫁の地位が安定する時だ。

安定とは、追い出される心配がなくなつたことだ。

手拭の一本しかない家嫁的地位が低い家に限つて食事の質が悪い。

すなわち手拭、嫁、食事は相関々係がある。こういう実態は米作り単一農家に多いのではないか。

農民の生活の向上を考えるとき、こゝに問題の基礎があるようだ。

原因として

(一)農民の経済状態は貧困である

(二)農民がおかれた封建的歴史的事実

(三)農民自身の自覚の欠除と責任

(四)家族制度、家財産のためという考え方である。

解決できるものと考えられる諸点は見栄をはらないことだ。農民はこの点一番強いと思われる。

一般人は衣食住の割合だが、農民は住衣食の順序だ。食が最后に考えられることからも命を大事にしない裏付になると考える。

梅干を噛つていても屋根、玄関をなおしたい、紋付を着るという習慣だ。

第二は農業経営方法の改善である。私は米作篤倒論を書こうと思つているが、米作りの農業では何時までも農民は苦しみ命を大切にしないことになる。米を作るという意味のものでない。

どうしてそうか(一)春秋という農繁期に労働のピークがある。期間にしばられた農業労働の性質が問題だ。

(二)家族皆んなが働いて経営が成立つている。頭を働かすものはオヤジだ。他は服従的、牛馬的労働力だ。

労働力とは頭を働かし、計画し、研究して労働することだ。

婦人（嫁）の地位はこゝに悪い。

群馬県の婦人の地位が比較的高い、経済的能力を具備しているからだ。

家族各々の地位を高めるためには、分業により個々の責任分担を作ることだ。

今までの青年団、4H クラブなどの研究改善活動が、農民は住衣食の順序だ。食が最后に考えられることからも命を大事にしない裏付になると考えず浮き上つた活動であつたようだ。人間の生命という根本問題を無視している。

こんな状態だから、婦人の地位の向上もなく何時までも旧態依然としているのである。

火の元御用心

コタツ　火消壺　取り灰に注意

▲コタツには必ず金網をかけましよう細ヒモやオシメの落ちていることを知らずにいて大事になつたこともある

▲消壺は土間に置いてフタを厳重にする事

▲薬灰やモミヌカ灰は二～三日もたつてから発火した例も度々あるので、湿みが無くなつてから他に移すようにしましよう

▲竈の煙突、ストーブの煙突は掃除は如何でしようか。寒くなると、おこたりがちですが充分気を付けましよう

▲学校、公民館等で集会されたり、利用される時、煙草を吸われる時は必ず所定のところで吸つて、吸殻を床や窓枠等に置かぬよう充分気を付けましよう

万一大事を引き起してはこの寒空に居場所もなくなるのだからお互いによく注意いたしましよう。

本年も無火災で一年間を暮しましよう。

青年卓球大会

郡大会・町大会

去る十二月十八日町連合青年団では小須戸小学校体育館において町青年卓球大会が各単位団参加され盛況に開催成績次の通り

団体の部

一位　鵜出古木チーム

二位　鎌倉チーム

三位　水田チーム

個人の部

男子

一位　児玉忠夫

二位　佐藤英夫

三位　内山良雄

女子

一位　谷悦子

二位　名古屋ヨキイ

三位　武田節子

なお、郡青年団主催で去る二十五日、木の香も新しい小須戸校体育館において県予選並びに郡青年卓球大会が開催され白根亀田等七町村の青年団が参加され熱戦が展開された。

小須戸チームは熱戦もむなしく強豪白根チームに敗れ二位となつた。

団体戦

一位　白根チーム

二位　小須戸チーム

三位　村松チーム

個人戦

男子

一位　笠井修作　白根

二位　坂井誠一郎　白根

三位　内山良雄　小須戸

女子

一位　乙川良子　亀田

二位　谷悦子　小須戸

三位　丸田朝子　亀田

白根地区卓球大会で谷悦子さん一位

去る一月一日白根小学校に於て、白根地区渡辺良夫杯争奪卓球選手権大会が開催され、小須戸卓球協会からも参加し、亀田、加茂等からも参加し百余名の選手の中に小須戸卓球協会の選手は、強豪亀田チームを圧し、女子の部で一～二位を獲得した。

（関係分）

女子　一位　谷悦子

二位名古屋ヨキイ

男子　二位　松林昭二

原稿募集

建設的な意見をどしど し寄稿して下さい。

〆切　毎月二十五日

必ず氏名記入のこと。

登校延期合同委員会

終論

登校延期合同委員会

教育と経済の反目から長い月日町の紛争となつた登校延期を曳る問題も一般町民の批判と、個々の反省の裡に今度漸く終末を告げる事になりました。

今回の問題も只漠然と表面から眺めた面と内面から見た実情は見る其の人々の職場、職業に依つて違つては居りますが、教育理想の原則と家庭経済の対立であつて両者の見解の相違はあつても、事に当つての熱情は何れ劣らぬものがあつたのにと思われます。

結果から見れば政治、教育、文化、経済と凡ゆる部門に対して町の住民の大半が生活の多忙に押し流されて、学ぶ意慾が衰えていたと申しても差支えないと考えられます。

事の勝敗は別として結果に於ては今後の町政に一つのポイントを与え、一般町民の政治に対する関心と批判力を培わせた事と思い合せますと、決して無駄ではなかつたと確信致します。

特に考えさせられたことは、積極的な気持を抜漏し得ず何物かに寄りかゝつて居る弱点を相互の熟慮の不足を反省され、我々共通の不備な問題を数多く発見出来た事であります。

今日の円満解決を見るに当りまして各方面よりの絶大なる御援助を賜りました事は厚くお礼申し上げます。

殊に今日に至るまでの討議費用一切は、四ノ町町内会にて負担して参りましたが、解決と同時に返済致しました処、返済金金弐万壱千八百参拾壱円也を金部其儘合同委員会の名において児童福祉の為に使用して戴きたいと申出られ、其の好意ある処置に対して合同委員会としても、基金の諸経費支払いの残額四万八千壱百六拾九円也を提供し合計金七万円也を児童福祉の為に用いようと一決致しました。

未だ概案ではありますが、其の方法として、旧校舎の運動場を空いている限りお借りして、運動具数種を購入設備して全町の児童に使用して戴くこと。運動場を与える事に依つて道路上で遊ぶ危険が少しでも除かれ遊ぶ道具やボール等を備え、面白く楽しく遊べる様指導して理想的なスポーツの基を築き度いと考えるものであります。何れ結果は改めて御報告申し上げますが、取敢えず御報告旁々四ノ町々内会初め御支援下さいました各位に貴重なる公紙の末端をお借りして厚くお礼申しあげ、難問題の終局を飾り度いと存じます。

三〇、十二、二十二記

旧正月を新正月に!!

年も暮れに迫ると毎年のように新正月、旧正月の問題が町の何処からともなく聞えて参ります。

"田上は今年から新正月だそうらし"

"うんそうか、でもやつゝつて居る弱点を相互のいゝの"　"いや今の時代ばり、わつたり旧正月が熟慮の不足を反省され、我々共通の不備な問題を数多く発見出来た事であの仕度でもして送り出すのは送り出してしまつた方が落着いて良い、雪も降らんのにケツも落着けておられぬわい。と云うのが旧正月保持者の言分であり、大体山の手の人寄り衆に多いと思います。これは大体農村を対称とした場合ですが商人の場合はどうでしょう。

新旧正月の買い物で二回の大売出しも出来るという金儲算段も無いわけでもないでしょう。最近に至つて若い者が大部分新正月を欲して来ているようです。

何故でしょうか。

"新らしい年を迎えるのに二月では全く新年の気分など全然味わえないし一月の最初から一ケ月遅れでは何もかも一ケ月遅れで頭もその通りになるし年賀の挨拶だけ"明けましておめでとう"で小屋でワラ仕事や嫁騒ぎでは新年の挨拶も半減してしまう。それに二度の正月では不経済極りない、それに二月では文化機関を通じて他の地方との交流もみられないし今更いう迄もない農業の機械化により能率も一般に向上し仕事の切り上げも楽である。全ての面から考えてみても旧正月は非合理的な事だ"これが新正月支持者の言分です。私もこの意見に対して賛成する一人です。

旧から新に改めることは今日の状勢から判断しても当然そうあるべきではないでしょうか。

鏡餅も門松もない一月元旦の小須戸の町を福の神も寄る所なく淋しく通り過ぎてゆかれるのではないでしょうか。何故一ケ月遅らして年も取るのか、だから全ての所に一ケ月遅れの考え方が出て発展性を欠くのではないかと思わずにおられません。次第に旧正月が新正月に切り替えられてゆく村や町が出て来たことは何を意味するものでしょうか。旧から新への自覚は暗か明への自覚であり沈默から活動(前進)への自覚であると考えるのです。そして又新生活運動に対する良き協力への道でもあると思います。

(一町民)

学校、公民館使用料金改正

学校、公民館使用料金改正について、十二月定例議会に於て使用条例の一部改正について次の如く決定（三十一年一月一日より施行）

（学校、公民館の使用について使用者において名儀の如何に拘らず、料金を徴收して使用するとき申込と同時に納入）

学校使用料金額

種別	昼	夜	摘要
運動場又は講堂一回について	二、〇〇〇円	三、〇〇〇円	中学校、小須戸小学校
〃	一、〇〇〇円	一、五〇〇円	矢代田小学校
教室一室一回につき	五〇〇円	一、〇〇〇円	各学校
施設屋外運動場	二、〇〇〇円	二、〇〇〇円	〃

公民館使用料金額

区分	会議室又は屋内運動場 昼	夜	集会室又は旧教室 昼	夜
本館	五〇〇円	一、〇〇〇円	三〇〇円	五〇〇円
小須戸分館	一、〇〇〇円	二、〇〇〇円	三〇〇円	六〇〇円
新保、横水分館	五〇〇円	一、〇〇〇円	三〇〇円	六〇〇円

小須戸分校

生徒募集

働きながら学ぶ味わいは同志、その人々でなければなかなか判らない。卒業した晩にだけ未踏の高峰を征服した味だ。

卒業生　二〇〇人

その中大学進学一〇名

在校生二〇〇人

県下八〇ケ分校中第五位に（内容、生徒数、教師数十九名）数えられる。内容の充実をも知ることが出来る。

ふるつて働きながら学ぶ高校に入りましよう。

水稲増収競技会を省みて

昭和三十年度に小須戸町並びに小須戸町農業協同組合と共催で、水稲増收競作会が開かれた。その審査の概要について述べてみたい。

総出品三九点で近年最初の催しとしては割合多い方でありましたが、全部落挙げて出品するところまでいかなかつた。

審査は第一次は苗代第二次は坪刈りによる收量を調査し、生粒より乾燥歩合を推定して反收を算出した。次にその概要を検討してみたい。

先ず品種でありますが北陸五二号が最も多く、大半高位收量で適地適品種に合つたものと思われる。次に農林四三号とぎんまさりが多く他は、こしほなみ、農林三二号その他が少しありました。

品種問題については、一般に関心が高いのでありますが稍もすると、多收穫作の高位入賞者の作つた品種が非常な勢で無批判に増加する傾向が強いようであります。多收をあげる人は品種以前の問題即ち、土壌条件やその他の環境を長年自分の努力によつて改良したものが多いのでありまして、そのような立地条件によつて初めて優良品種の特性が発揮されることを十分認識しなければならない。

更にいくら良品種と云つても欠点を皆持つておるので、その欠点を栽培の面に補うことが大事である。今回北陸五二号の入賞が多くあつたことは勿論栽培技術もありましたが本年の気象並びに土地条件に良く合つたものと推定する。

苗代については、收量が大体同じ場合苗の成績の良いものを上位と決定した、概ね收量の多いもの程苗代も良いようであります。又大部分簡易折衷苗代と保温折衷苗代で占められ、水苗代は極く一部しかない状態で改良苗代の良い点を相当理解されており、その育苗成績も全般的に良好と思われた。中には改良苗代をまねした我流的なものもあり、稍劣つておるのも見受けました。春の気候からすれば高温のため稍徒長気味のものが出ましたが、今後悪天候に耐える改良苗代をより一層導入する必要があろう。

收量の審査については先ず注目すべきことは、近年にない豊作の関係もあり、最高入賞者が反当五石の線に到達したことであろう。更に全体の三割が四石以上の成績を得たこの現象は木だかつてない状況で、これは単なる運がよかつたという事で済まされないと思う。

春以来、栽培に精打込んで努力された結果であり尚それ以割に地力の増進に、環境の整備に計画的にその基礎を築いた方が少くないのであつて、偶然に当つたとみてはならない。入賞されない方も一般に比較して決して悪い成績でなかつた。

栽培技術や病害虫の面については、座談会の際度々検討されたが、その問題については後日の機会としたい。

増收競作会で高位に入賞することが農家の目ざすところでなく、全耕地の平均收量を上げることが本当の意義でありまして、競作会出品のため、立地条件や経済を度外視して実施することは絶対すべきでないことを念頭において、稻作経営の安定のために腰を落着けて今後の稻作りに処して貰いたいと思う。

小須戸町役場

小須戸町農協組合

新津地区改良普及所

水稲増收競作会入賞者

順位	品種名	栽植密度	反当收量	部落名	氏名
特等賞	北陸五二号	六〇・四	五、二八〇石	横川	高野嘉一
一等賞	〃	五四・〇	四、七九四	小須戸	加藤清衛
優秀賞	〃	五五・九	四、三二九	横川	会田良治
〃	〃	五三・八	四、三〇九	新保	石本吉平
〃	〃	五四・三	四、二五五	横川	堀内幸平
〃	〃	六一・〇	四、一四八	矢代田	田沢良吉
努力賞	農林四三号	六〇・五	四、一二八	〃	武沢秀三郎
〃	北陸五二号	五七・一	四、〇九七	横川	広川喜一郎
〃	ぎんまさり	五七・七	四、〇九三	新保	本望治作
〃	〃	六六・七	四、〇七七	鎌倉	渡辺治作
〃	〃	六〇・五	四、〇九三	小尚	野崎清一
〃	北陸五七号	五七・一	四、〇六一	新保	川瀬弘一
〃	農林三二号	五一・三	四、〇一二	鎌倉	渡辺八郎

行事お知らせ

◇第五回　家庭看護法講習会

一月二十二日　午前九時　中学校

講師　谷　美津枝先生

◇第五回　幻灯コンクール

日時ポスターでお知らせ　小須戸分館

各分館演出

◇レコード・コンサート

(一)「クラシック」　二月四日　午后七時　公民館

(二)「タンゴ」　二月十八日　午后七時　公民館

◇近郷卓球大会

二月五日　午前九時

会場　小須戸(小)主催　卓球協会

※中で、日本語の起源を、現に東ヒマラヤの谷底に住んでいるレプチヤ人の使つていることばに探し当て、これまで国文学者が説明できなかつた万葉集の中のことばを、「レプチヤ語辞典」によつて、いともたやすく解釈しておられます。

例えばヌバタマについてはカラスオオギという植物の実で色が黒いから「夜」や「黒い」の枕ことばになつたのだという。これまでの説明に対してチベット語のヌブ、ヌバは夜であるし古いインド語（サンスクリット）のタマも夜であつて、はじめに日本に来たモン族は夜をミヤルとかヨルといつていたのにあとから来た天孫族が、ヌバとかタマいつて、いつのまにか三つのことばが抱き合いヌバ（夜）タマ（夜）ヨル（夜）というおもしろいことばができあがつてしまつたのだと解釈しておられます。

万葉集の謎

安田徳太郎著

万葉集といえば、日本で最も古い本、むずかしい歌集と考えられ、我々が手にとるのもめんどうくさいという方もありましようが、しかしこの「万葉集の謎」だけは、どんな人にもおもしろく読めると共に、確かに一つ読の価値がありますからまあ、だまされたと思つて読んでごらんなさい。

安田さんは「人間の歴史」や「風俗の歴史」の新聞広告で知つておられる方も多いと思いますが「自然科学の湯川博士と並んで、日本の社会科学もこの人によつて、やつと世界水準の門口に達した。」と賞めている人もある位に秀れた人です。

安田さんはこの本の※

購入図書のお知らせ

●キネマ旬報十二月下旬　●武道名試合　●自己を活かす・フイーロルイング　●安吾捕物帖(3)・坂口安吾　●源義経(5)・村上元三　●世界のうらおもて・Sカンドウ　●ある夫婦の歴史・岸田国士　●谷内六郎画集・谷内六郎　●私のお化粧・秘録・村雨退二郎　●人生史・宇野千代　●画説農家の生活改善・農林省　●万葉集の謎・安田徳太郎　●生命の起原・オパーリン　●推理パズル・藤村幸三郎　●千恵子の生き方・田宮虎彦　●へそくり社員・北町一郎　●山の手の子・獅子文六　●情事の部屋・佐藤みどり　●私は背広だ・篠原正瑛　●壁の中の青春（若き未決囚の手記）・山崎安雄　●日本文学アルバム(4)・堀辰雄　●虹の約束・丹羽文雄　●出稼ぎの便り待つ妻と子よ・暗渠溝冬田断たれし四十間　●学生教養新書、小説の読み方　●山下清画集・山下清　●江戸三国志（新編大衆文学名作全集）・吉川英治　●孔雀夫人・横溝正史　●新平家物語(20)（浮巣の巻）・吉川英治　●オール読物新春特大号　●皇后さまのデザイナー・田中千代　●別冊文芸春秋芥川賞、直木賞・作家小説特集　●キネマ旬報新年特別号　●野球界一月号　●呪われた穴・ニコラス・ブレイク　●次郎物語(5)・下村湖人　●0815(3)・ハンスキルト　●クイズ教室・高木佐加枝　●大菩薩峠(2)・中里介山　●三国志(1)・吉川英治　●愛を語る女性群像・田中いさの外　●ことばの事典(4)・日置昌一　●人間の歴史(5)（食と性の交換）・安田徳太郎　●文芸春秋漫画読本(7)

製本図書のお知らせ

次ぎの図書が製本されました。御利用ねがいます。

◇妖異忠臣蔵・角田喜久雄　◇土曜夫人、外・織田作之助　◇次郎吉娘・邦枝完二　◇多甚古村・井伏鱒二　◇求愛ABC・佐々木邦　◇相馬大作・直木三十五　◇両国梶之助・鈴木彦次郎　◇大仏次郎作品集(2)　◇長編小説名作全集・浜本浩　◇現代日本小説大系(23)　◇現代日本小説大系(3)・武者小路実篤　◇堀辰雄・太宰治・岡本かの子　◇傑作長編小説全集・火野葦平　◇夏目漱石作品集(8)　◇谷崎潤一郎作品集(4)　◇世界文学全集　嵐が丘　その他の部　◇鉛筆ぐらし・扇谷正造　◇一等サラリーマン・源氏鶏太　◇桃々次郎長三国志・村上元三　◇鳳と共に去りぬ(1)・マガレット・ミッチエル　◇宮本武蔵(4)・吉川英治　◇次郎物語(1)(3)・下村湖人　◇大地・パールバック　◇地下鉄の伸公・三木蒐一　◇曾呂利新左エ門・尾崎士郎　◇球を抱つ・加藤武雄　◇戦后ソヴエート紀行・スタインベック　◇青い山脈・◇珍説忠臣蔵・◇バスカヴイル家の犬・コフンドイル　◇恐怖の谷・◇この子を残して・永井隆　◇えり子の風・内村直也　◇話の泉・和田信賢

出生・死亡

十一月二十九日～十二月三十一日

出生

（小須戸）田中肇、木村省二、大貫秀夫、笠原己克男、渡辺英夫、岡元創（矢代田）野崎伊佐男、風間節子、田沢美佐子、阿部美沙恵、土田秀明（新保）風間功、高山剛、（横川）武田澄子（竜玄）高橋清

死亡

（小須戸）涌井源三郎、島倉ミキ、田中テイ、佐藤楯平、大貫秀夫（小向）武田チノ、高野周平（新保）一本館藤蔵（矢代田）田沢ナヲ

師走句会報

小須戸町俳句同好会

再びは嫁ぐ気もなし日記買う　星灯

癒鶏の売られ行くなり師走市　杏水

出納簿妻にほめられよき師走　水月

いとけなき安兵衛もいる義士祭　芳村

寺借りて師走湯浴の二三泊　蜂子

大原の冬恐ろしと家囲う

行商のかわるがわる来る師走　香月

提灯をつけて師走の渡舟出る　健堂

豆打ておれば隣も打ちはじめ　ひさ

木枯に焼酎一杯の戻りかな　一灯

町角の銀杏落葉やそんな町　山葵

出稼ぎの便り待つ妻と子よ　石秋

暗渠溝冬田断たれし四十間　虚秋

殘業は子のセーターを買うことに　静堂

稲架解かれ刈田はるかに暗渠掘る　渓灯

風邪気味をおして師走の店守る　灯流

兎に角も生きて師走を恙なく　流水